

鉄鋼環境 基金ニュース

令和 7 年 7 月 11 日
(2025 年)

第 81 号

主な掲載内容

- I. 第16回（令和7年度）助成研究成果表彰 受賞者の決定
- II. 第46回（令和7年度）助成研究テーマ 応募結果
- III. 第16回（令和7年度）製鉄所見学会（神戸製鋼 加古川製鉄所）

I. 第16回（令和7年度）助成研究成果表彰の受賞者

助成研究成果表彰は、優れた成果をあげた助成研究者に授与されるもので、本年度は 11 名の応募があり、技術委員会による厳正な審査により各賞の候補者を選考し、5 月 27 日開催の第 66 回通常理事会において、3 名の方の受賞が決定いたしました。

表彰式・受賞記念講演会は、9 月 1 日(月)15 時から鉄鋼会館 704 室で開催します。

1. 理事長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩を通して鉄鋼業や社会に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	本多 了	所属	金沢大学理工研究域地球社会基盤学系 教授
助成研究期間	3 年間 : 令和 3 年 11 月～令和 6 年 10 月		
研究テーマ	微生物カプセル MBR 法による PFAS 汚染水処理プロセスの開発		
研究成果	氏は、微生物カプセル法による PFAS 汚染水処理プロセスを開発するとともに、PFOS 代謝経路についても検討しており、革新的な成果をあげている。この研究成果は、大きな課題となりつつある PFAS 対策に寄与する社会的意義の大きい研究成果である。		

2. 技術委員長賞

賞の性格	環境技術及び学術の進歩に、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた若手助成研究者に贈られる。		
氏名	池盛 文数	所属	長崎大学総合生産科学域(環境科学系) 准教授
助成研究期間	2 年間 : 令和元年 11 月～令和 3 年 10 月		
研究テーマ	人為起源二次有機粒子の実態解明を目指した観測・解析手法の開発		
研究成果	氏は、行政が多く所有する測定装置のテープろ紙を利用する観察・解析手法を確立し、実サンプルを用いて人為起源二次生成有機粒子の実態解明を行っている。この研究成果は、光化学オキシダントの生成機構解明にもつながる環境行政への貢献も期待できる研究成果である。		

3. 鉄鋼技術賞

賞の性格	鉄鋼環境技術の進歩を通して鉄鋼業に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。		
氏名	増田 秀樹	所属	鈴鹿医療科学大学 客員教授
助成研究期間	3 年間 : 平成 30 年 11 月～令和 3 年 10 月		
研究テーマ	炭酸ガスを捕捉し有用性物質へ変換する革新的触媒技術の創製		
研究成果	氏は、イオン液体特性を利用し電気化学的に CO ₂ からメタノール合成やエタノール変換への高効率変換に成功している。この研究成果は、鉄鋼業においても、将来の CCS/CCU 分野に大きく貢献することが期待され、今後のカーボンニュートラル実現に向けた重要な研究成果である。		

Ⅱ. 第46回（令和7年度）助成研究テーマの応募結果

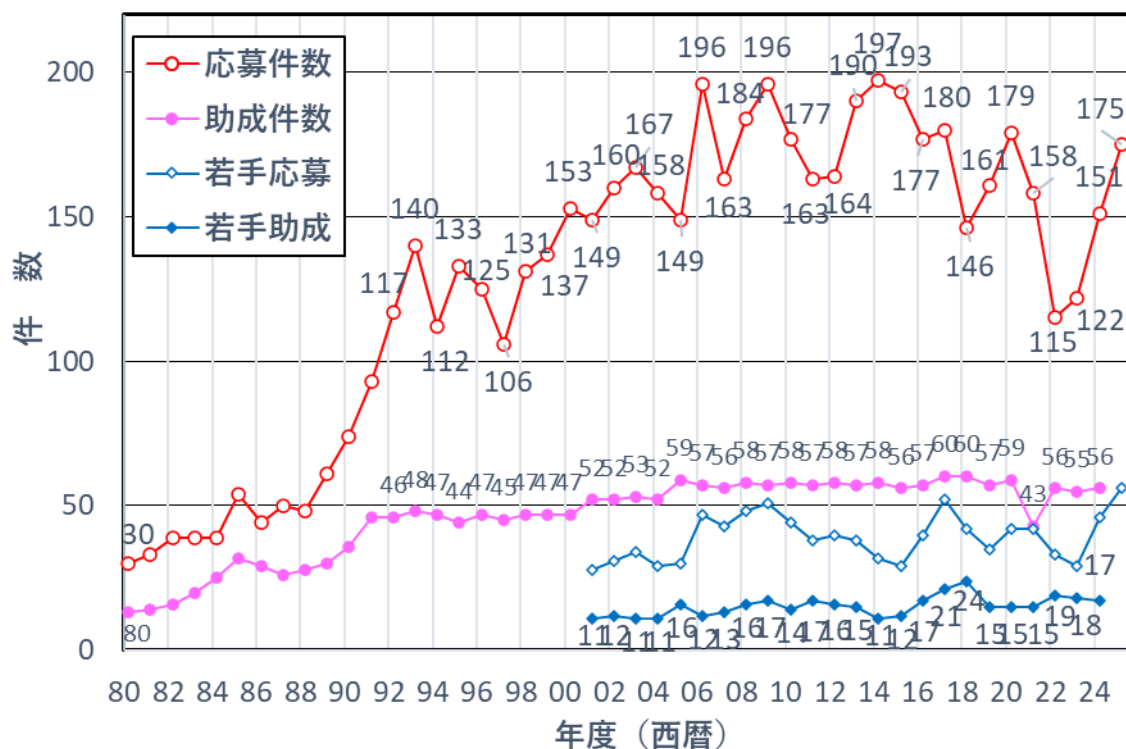
令和7年度の研究助成事業の公募は、4月1日から5月31日までの期間に行った。
今年度の応募結果は以下の通りである。

【応募状況全般】（カッコ内は昨年との差）

		令和7(昨年比)	令和6	令和5	令和4	令和3
応募 件数	応募総件数	175(+24)	151	122	115	158
	1. 継続研究	32(+4)	28	34	19	35
	2. 新規研究	143(+20)	123	88	96	123
	初応募	57(+12)	45	30	26	42
	若手研究	56(+10)	46	29	33	42
	1. 大学から	147(+18)	129	110	103	128
	2. 高専から	13(+1)	12	4	7	8
	3. 研究所等から	15(+5)	10	8	5	22

- (1) 応募件数は、助成件数を絞った翌年の令和4年に115件まで減少したが、令和5年に122件、令和6年に151件、令和7年に175件(+24)と毎年増加し、ほぼ令和3年以前の水準まで戻った。
- (2) 初応募が57件と昨年より12件増加。今後も鉄鋼環境基金の活動を広く知っていただけるよう努力する。
- (3) 若手研究者からの応募が56件と昨年より10件増加。
- (4) 大学、高専、研究所等からの応募がいずれも増加。

【応募件数・助成件数の推移】



応募件数・助成件数の推移

【分野別応募件数】

- (1) 地球環境分野は近年増加傾向の中で、昨年の 78 件から 90 件(51%)とさらに増加。
 (2) 資源循環分野は 3 年前に大きく減少したが、昨年までに少し戻し今年は 31 件(18%)と昨年同等レベル。
 (3) 大気環境分野は一昨年までは徐々に減少していたが、今年は 20 件(11%)と昨年同様に微増。
 (4) 土壌水質分野は一昨年まで減少傾向にあったが、昨年より増加に転じ今年は 34 件(20%)。

分類・課題	令和2年度応募			令和3年度応募			令和4年度応募			令和5年度応募			令和6年度応募			令和7年度応募		
	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計	一般	若手	合計
(1)地球環境	27	16	43	27	12	39	39	19	58	47	15	62	52	26	78	59	31	90
①カーボンニュートラル基盤技術	16	6	22	15	7	22	23	8	31	30	6	36	30	13	43	37	21	58
②抜本的なCO2排出削減	5	3	8	8	2	10	5	3	8	6	2	8	10	3	13	5	2	7
③未利用エネルギー有効活用	6	6	12	2	1	3	3	3	6	5	3	8	6	4	10	9	1	10
④地球温暖化に対する適応	0	1	1	2	1	3	7	4	11	5	3	8	6	5	11	7	6	13
⑤環境汚染物質の発生抑制技術	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	2	0	1	1	1	1	2
(2)資源循環(副産物)	35	2	37	33	9	42	15	4	19	22	6	28	21	8	29	24	7	31
①スラグの利用・高付加価値化	31	2	33	32	9	41	14	4	18	17	5	22	17	7	24	17	7	24
②副産物の減量・減容化、再利用	3	0	3	1	0	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	2	0	2
③プラスチックリサイクルなど循環型社会形成に資する技術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	1	3	3	0	3
④他産業の副産物及び廃棄物の鉄鋼業への有効利用技術	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2
⑤水銀汚染廃棄物の効率的処理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1			
(3)大気環境	27	8	35	24	7	31	12	5	17	11	4	15	11	7	18	14	6	20
①光化学オキシダント・PM2.5対策、測定技術	23	7	30	19	7	26	8	4	12	9	4	13	9	5	14	11	5	16
②省エネ、低コスト、高効率化	3	0	3	3	0	3	2	1	3	1	0	1	2	1	3	1	1	2
③水銀等重金属の低減	1	1	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	0	1	1	2	0	2
(4)土壌水質	44	14	58	32	13	45	15	5	20	13	4	17	21	4	25	22	12	34
①水処理高効率化、重金属等の除去・回収	25	11	36	14	8	22	8	2	10	7	1	8	13	4	17	12	7	19
②土壌・地下水汚染の浄化・測定技術	11	3	14	6	3	9	5	1	6	3	0	3	7	0	7	10	4	14
③閉鎖性海域の環境対策	8	0	8	12	2	14	2	2	4	3	3	6	1	0	1	0	1	1
(6)その他	4	2	6	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
合 計	137	42	179	116	42	158	82	33	115	93	29	122	105	46	151	119	56	175

Ⅲ. 第16回(令和7年度) 製鉄所見学会(神戸製鋼 加古川製鉄所)

5月8日(木)に㈱神戸製鋼所加古川製鉄所で製鉄所見学会を開催いたしました。

参加者募集は前年度採択者から行い、採択者20名、技術委員2名の参加をいただきました。

工場見学ルートについては降下ばいじん対策としての大規模防塵ネット設置状況を確認の後、高炉、厚板工場、原料岸壁を見学いたしました。特に、高炉出銑口や熱間圧延など、普段見ることのできないスケールの大きい製造工程を肌で感じることができたといった感想やカーボンニュートラルや降下ばいじん対策の取組に関心を示された方が多く、皆様ご満足をいただきました。

来年度は大同特殊鋼㈱で開催予定です。



事務局だより**役員の変更****【理事の変更】**

辞任（令和 7 年 6 月 23 日付）

亀谷 岳文 公益財団法人鉄鋼環境基金 事務局長 専務理事

補欠就任（令和 7 年 6 月 23 日付）

一松 栄司 公益財団法人鉄鋼環境基金 事務局次長

【評議員の変更】

辞任（令和 7 年 6 月 23 日付）

朝比奈 健 J F E スチール株式会社専務執行役員

吉村 宇一郎 前石油連盟常務理事

補欠就任（令和 7 年 6 月 23 日付）

日野 忠昭 J F E スチール株式会社常務執行役員

及川 洋 石油連盟常務理事

【専務理事の選任】

就任（令和 7 年 6 月 30 日付）

理事 一松 栄司 公益財団法人鉄鋼環境基金 事務局長

【評議員会議長の選任】

就任（令和 7 年 7 月 7 日付）

評議員会議長 日野 忠昭 J F E スチール株式会社常務執行役員

鉄鋼環境基金ニュース第81号

令和7年7月11日発行

発行所：(公財)鉄鋼環境基金

〒103-0025東京都中央区日本橋茅場町3-2-10鉄鋼会館6階

[Tel:03-5652-5144](tel:03-5652-5144) [Fax:03-5641-2444](tel:03-5641-2444)

E-mail: sept.senmu@sept.or.jp

URL: <http://sept.or.jp/>